

令和7年度 岡山県立大学学外履修者募集案内一科目紹介一

KIBInoMORI Recurrent Courses

 岡山県立大学
OKAYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

「吉備の杜」で若者と共創する学び

「リカレント教育」とは、「社会人が仕事で求められる能力を自主的かつ継続的に学び直す」ことです。「人生100年時代」を背景に、近年、ビジネスパーソンの将来を見据えた“学び直し”が注目されています。現在岡山県立大学では、大学院および学部で開講されている科目の一部を学外の社会人・学生にも無料で提供しています。

岡山県立大学

地域創造戦略センター 吉備の杜推進室

〒719-1197 岡山県総社市窪木 111

電話：0866-94-2205

メール：kibinomori@oka-pu.ac.jp

申込・詳細はこちら



令和7年度 科目紹介 —履修可能な学部・大学院科目一覧—



対面・オンデマンド

全て対面およびオンデマンド配信対応科目

学部 H1 フードビジネス学



開講時期: 8月下旬～9月中旬(集中講義)
岡山県の特産品の食資源開発力に基づく食品の生産、加工、流通、消費について、大学における共同研究、商品開発、食品業界の品質管理や経営の現場から、食品の川上から川下までのシステムについて具体例を挙げて講述します。広い視野から食の安心・安全、食品の研究開発や食品の生産、流通、消費の流れについて、理解を深めることを目的とします。

大学院 CC2 地域経済をテリトリーから考える



開講時期: 12月上旬～2月中旬
テリトリーとは、地域の文化、歴史、環境などを包括する概念です。「吉備の杜」に内包する歴史や文化を学び、先人を作り上げた文化や歴史をどのように未来につなげていくのかを研究することは今を生きる私たちの責務と考え今後どのように岡山を発展させるかを議論します。

大学院 CC3 テクノロジーとビジネスの変革



開講時期: 5月中旬～6月下旬(集中講義)
インターネット、スマートフォンに代表されるデジタルテクノロジーが私たちの暮らしに大きな影響を与えています。テクノロジーにより、人々の消費行動は変わり、ビジネスも変化し続けています。講師が実体験してきた約半世紀のテクノロジーとビジネスの変革を中心に学び、来るべき、創るべき未来について受講者とともに考えます。

大学院 CC4 デザイン思考



開講時期: 9月下旬～11月下旬
将来の予測が困難な「VUCAの時代」と呼ばれる現在、イノベーションとの親和性が高い「デザイン思考」への注目が高まっています。しかし、「思考」と名づけられているが故に、しばしば思考法やフレームワークの一種だと誤認されています。デザイン思考が目されるようになった社会的・歴史的背景を概観し、演習を通じてデザイン思考の各プロセスを経験することで、より実践的な知見とマインドセットを修得することを目的とします。

大学院 CP1 時事と歴史を読む



開講時期: 11月下旬～2月上旬
現代社会における諸問題は様々な要素が複雑に絡み合っているため、歴史的背景をふまえて論点を整理しないと、課題解決に向けた思考には結びつきません。半導体を例としたグローバルな物流、地域課題と地方創生、東京一極集中、国内外の教育問題、外交問題、雇用問題など現代社会の諸課題について、歴史を踏まえてその成因を理解し、課題の本質を探究することを学びます。

大学院 CP2 サステイナブルな社会に生きる



開講時期: 8月上旬～8月下旬(集中講義)
食糧やエネルギーの諸外国への大きな依存や異常気象などの問題は持続可能な社会を構築する上で大きな障害となります。本講義では、変動する社会、経済、環境問題に対し、環境に配慮した持続可能な社会やライフスタイルの実現に向けた基礎づくりを、SDGs・エネルギー問題・食糧問題の基礎知見を会得した上で、政府の重点課題や岡山県の取組み例から考え、課題解決に向けたワークショップを行い、その提案について講師も含めて議論します。

大学院 CP3 ローカル・イノベーション



開講時期: 9月下旬～11月下旬
「ローカル・イノベーション」は、地域の背景や文脈に合わせて行われるイノベーションと定義します。地域のニーズや課題に対応するために、その地域で有効な解決策やアイデアを生み出すプロセスを指します。本講義では、全国的な課題となっている人口減少、地方の存続危機に対し、地方での暮らしを維持し、かつその価値を高める活動・事業を行う「地域人材」の存在について実際の人物の在り様に触れ、地域が抱える課題を解決するための人材育成・取り組みについて論じます。

大学院 CP4 若手企業人材に必要な各種実践能力の養成



開講時期: 9月中旬～9月下旬(集中講義)
第4次産業革命と言われる現代は、人工頭脳(AI)、IoTやDX技術などの発達で、「モノをどう作るか」のキャッチアップの時代から「何を造るか(創るか)」のフロントランナーの時代へと大きなパラダイムシフトに突入しています。本講義では、若手企業人材として、高等教育機関で習得した基礎・応用知識などを如何にして知恵に変える「思考力」や知恵を実践するために必要な「対人力」と「組織で働く力」など関連能力の飛躍的伸長を目的とします。

大学院 CP5 災害医療援助論 ^{※1}



開講時期: 5月中旬～8月上旬(集中講義)
本講義では、AMDAによる派遣講師陣から実際の災害医療の現場での活動の講義を受け、生死について考える時間を設けることで、災害に直面した人々への洞察を深めます。さらに、災害医療の現場について、想像力を働かせることができるように、現状に応じた柔軟な考え方や対処の仕方を身に着けます。最終的には、様々な状況に生きる人々への理解を深め、人命を尊重する見識を深め、災害に対応する社会システムについて理解を深めます。

※開講時期は予定です。
※申込は様式をホームページよりダウンロードし、郵送(又は電子送付)にてお送りください。履修許可証を発行(返送)します。
※申込は受講したい科目が開始される月の前々月末(必着)までにお申し込みください。
※科目により課題提出があります。詳しくはホームページ シラバスをご確認ください。

※1 受講者は、9月下旬より実施予定の「災害医療援助論演習」にも参加できます。ご希望の場合には、申込書へご記載ください。